

徳島経済 116号 特集『稼ぐ力』発刊にあたって

公益財団法人徳島経済研究所は、最新号となる『徳島経済』116号を発刊いたしました。

■ 今号の背景と狙い

長引く物価高騰を背景に、実質賃金の維持・向上が地域経済の最重要課題となっています。識者が語る「賃上げには生産性の向上が不可欠」という一般論を、いかにして徳島の現場で実践に落とし込むか。本号では「稼ぐ力」をテーマに、理論だけではなく「具体的事例」を深掘りしました。

■ 本号のハイライト

- **【座談会】AI×人的資本**：先駆的な県内企業3社による、最先端技術と人の調和が生む新たな付加価値についての議論を掲載しました。
- **【Report】地元企業の「稼ぐ力」**：自社の市場と価値を見つめ直し、実際に稼ぐ力を向上させた県内企業の成功プロセスを詳細に提示しています。

特集『稼ぐ力』

ai'sview 藍の視点

「生産性」という言葉の罨……………1

座談会

AIと人材投資で会社を強くする……………2

西精工株式会社 代表取締役社長 西 泰宏氏、株式会社シケン 代表取締役社長 島 隆寛氏、

喜多機械産業株式会社 代表取締役社長 喜多 真一氏

Report

● 労働生産性の現状……………19

● 地方企業のスケールアップ……………34

● 徳島観光の現在地とAI時代の誘客戦略……………56

● 「年収の壁」をめぐる県民の意識と行動……………72

寄稿

再び「地域の論理」～複合的「世界モデル徳島」構想～……………83